

マルチプル・キャンサー

「先生、もうあかんのでしょうか…？」

不安と絶望に苛まれながらも、彼女は運命を受け入れた。

山田洋次監督推薦の「出家」シリーズ、待望の第2弾！

●生きる意味の本質に迫る、究極の実存小説。

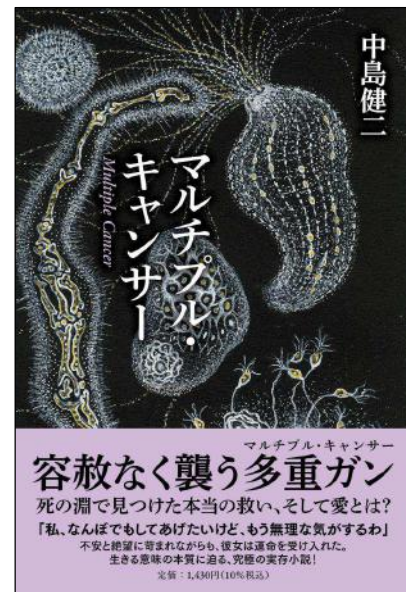
前著「出家」では圧倒的な描写力と構成力で、ある医師の数奇な人生を描ききった著者。今回はガンと診断された中年女性が、死を迎えるまでの数カ月を描く。

疑いと否定、自己欺瞞、恐怖と後悔、おののきと諦念、そして感謝、愛…。患者の微妙な心の襞の動きが驚くほど稠密に描写されており、ページを繰るごとに登場人物の息づかい、さらに体温すら感じられる。

読者は肺腑をえぐるような鋭い表現に翻弄されながらも、読了後には今この一瞬のかけがえのない生を、改めて反芻することになるかもしれない。

本書は、極めて凝縮された最高度の小説であるとともに、生きることの本質に鋭く迫る実存小説とも言えます。

人生行路に立ち迷うすべての人に、生きる意味と勇気を与えることは必定。筆者入魂の純文学書き下ろし中編小説をぜひ手に取って、感動を味わっていただきたい。



著者紹介

中島 健二(なかじま・けんじ)

1939年東京生まれ。京都府立医科大学名誉教授、ウェスタン・オンタリオ大学(カナダ)客員教授、医療法人社団恵寿会まるおクリニック認知症研究所長。特定非営利活動法人「京都の医療・福祉プロジェクト」理事長。

京都府立医科大学卒業・同大学院精神科修了。医学博士。東京通信病院脳神経外科医員、秋田県立脳血管研究センター脳神経外科主任研究員・神経内科主任研究員(医長)を経て、同センター病院長。京都府立医科大学神経内科教授、国立舞鶴病院病院長を歴任。瑞宝中綬章受章。

『痴呆症 基礎と臨床の最前線』(金芳堂)、『この日本で老いる』(世界思想社)、『家族のための〈認知症〉入門』(PHP新書)、『希望の介護 認知症を考える「中島塾」によろこ』(書肆クラルテ)など著書多数。

貴店印・帳合 ご担当 様	ご注文数 冊	<div style="text-align: center;"> <h2>マルチプル・キャンサー</h2> <p>中島 健二/著</p> <p>定価：1,430円(10%税込)</p> <p>ISBN978-4-910739-21-2</p> <p>発売日：2023年3月15日</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;"> 四六判上製/144頁 </div> <p>PHPエディターズ・グループ</p>
-----------------------------	-----------------------	--

発行 | PHPエディターズ・グループ

〒135-0061
東京都江東区豊洲5-6-52 11階
☎ 03-6204-2931
FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。